

平成 26 年 5 月 29 日 (木) (15:00~16:30)

於 多治見市役所 5 階全員協議会室

**平成 26 年度 第 1 回 多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等
雨水排水対策協議会 議事要旨**

1. 市長挨拶 省略

2. 委員紹介 省略

3. 100mm/h 安心プランへの登録について

本協議会において策定した浸水対策実行計画については、平成 26 年 2 月 4 日に国土交通省 100mm/h 安心プランに登録された。本登録制度は、近年、短時間の局地的な大雨等により浸水被害が多発していることから、国土交通省が市街地の浸水被害の軽減を図るために実施する取り組みを定めた計画で、登録の要件を満たすものを 100mm/h 安心プランとして登録するもの。登録されると社会資本整備総合交付金による支援など、国の予算が重点的に配分されるため、実行計画がより推進しやすくなるを考える。

4. 多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等浸水対策実行計画の進捗状況

資料の見方の説明 省略

取組状況の報告

① 国土交通省庄内川河川事務所

河-3

国長橋から陶都大橋間の土岐川左岸において、計画よりも現況が 70 cm 程度低いことから堤防の嵩上げを予定している。平成 25 年度は具体案の作成を行った。こちらの背後地には住宅が密集しているが、堤防の安定性を考えると出来る限り盛土構造としたい。また地元でも有名な 14 本桜を出来る限り残すことで検討を行った。場所によっては、桜の伐採や移植等が必要になってくる可能性もあるので、多治見市と調整をしていく。平成 26 年度は 5 月に多治見市に事業概要の説明を行った。今後、地元説明を行い、了承が得られれば工事を着手していく予定。

河－４

平成２５年度は切り回し道路を完了する予定であったが、多治見市で調整池の用地を買う予定となったことから設計変更が生じ、今年度も引き続き工事を行っている。１２月ごろには愛岐道路を付け替えて、仮設工事及び用地の取得を進めていく。

河－６②

平成２５年度の１，２００ｍ^３の掘削をもって事業完了。

河－６③

平成２５年度は辛沢川合流点を前倒しして掘削を行った。平成２６年度は溪谷部の河道掘削の設計並びに計画に対する調整、協議を行っていく予定。

(質疑事項)

Q 1) 多治見市の地域防災計画資料編には平成２３年度国土交通省管理土岐川重要水防箇所調書というものがあり、重要度 A、B 等あるが、河－３はその一環で行うものか。また、そういった個所も将来的には直していく予定か。

A 1) 重要度は毎年、出水期前に確認してランク付をしている。庄内川全体でかなりの数があり、その一つが平和町の個所になる。予算の制約もあるが、優先度をつけながら施工していく。

Q 2) 切り回し道路に大型土嚢が積んであるが、水に浸かっても問題はないか。

A 2) HWL より上に積んであるので、基本的には問題は無いが、出水時には監視等を行って対応していく。

② 国土交通省多治見砂防国道事務所

軽－５

平成２５年度は設置場所及び用地の調査を行った。平成２６年度は実施設計を行う予定。

③ 岐阜地方气象台

軽－１

平成２５年度は８月３０日に特別警報が創設されるのに先立って、多治見市長及び防災担当者へ説明を行った。また、ホットラインの活用について周知している。平成２６年度は新たなガイドラインのこともあり、引き続き協力していく。

③ 岐阜県多治見土木事務所

排－６②

国道248号アンダーパスのポンプを増強し完了した。池田アンダーパスは停電時に必要な発電機を設置する工事が現在施工中であり、6月末に完了予定。

(質疑事項)

Q1) 平成23年度の大雨が再びあった場合、アンダーパスの排水は可能か。

A1) この計画は平成23年の台風15号豪雨に相当する雨に対して、床上浸水を概ね解消することを目的としているため、そのような状況になれば水は溜まることになる。

④ 多治見市都市計画部

河-2

平成26年5月に庄内川河川事務所より計画案の提示があり、庁内で検討を進めている。6月4日には自然保護団体との調整を予定している。

抑-3⑤

平成25年度に基本設計を完了し、平成26年度は詳細設計を予定している。

抑-6

岐阜県の開発指導要綱では1ha以上が雨水流出抑制基準の対象であるが、平成24年度には3,000㎡以上を対象とした。平成26年度には1,000㎡以上を対象に検討を進めている。

軽-13

平成25年度までは、事例調査を行った。平成26年度は地元協議を行い、方向性を出していく。

軽-14

すでに注意喚起資料を作成し、適宜配布している。今後も継続していく。

(質疑事項)

Q1) 1,000㎡以上の開発には調整池が必要とした場合、開発業者に過度な負担が掛かるのではないか。

A1) 個人への負担も大きくなるのが考えられるので、検討していく。

Q2) 資料5P67、P68の平成24年度の進捗率が間違っているのではないか。

A2) 軽-13は0% (未着手)、軽-14は5%に修正をお願いしたい。(修正について承認された。)

⑤ 多治見市企画部

軽一 8

平和町は見直し完了。池田町、前畑町4丁目、田代町は検討中。

軽一 11

ハザードマップは作成完了。平成26年度はハザードマップの具体的な活用方法を地元と検討していく。

軽一 16

役割分担や連携について社会福祉協議会と今後、協議していく。

(質疑事項)

Q1) 昭和小学校体育館の建て替えのために、平和中学校へ避難することになるが、大雨時に平和中学校へ行くのは土砂災害の危険もあり、大変である。

A1) 昭和小学校の校舎を使えないか、教育委員会と協議する。また、民間の高い建物も使わせていただけるか調査する。

Q2) 国道248号西側の田代町は浸水するのが早く、どの水位で危険と判断すればよいか。

A2) 現在、どの水位を使えばよいか検討しているところであり、平成23年の水害の状況等を教えていただき、判断材料の一つとしていきたい。

Q3) 前畑町の線路より南側には避難場所がない。

A3) 状況によるが、浄化センターに受け入れができる体制を検討していく。

Q4) 防災リーダーが機能していない。

A4) ハザードマップや防災リーダーを有効に活用できるように、3つの区(11、12、26区)については早急に対応していく。

(意見)

ハザードマップを活かすためには、災害図上訓練を住民の方が直接やっていただくのが望ましい。

⑥ 多治見市建設部

河一 5

平成25年度は河川付け替え部の線形を決め、土地取得に向けた設計を実施。上流部で

は既設河川に擦り付ける区間の堤防の嵩上げを実施。平成26年度は用地取得、建物補償を予定している。

河一9

用地確保に向けた協議を進めている。

河一10

平成25年度は根本川、酒井田川付近の浸水を解消する排水設計と赤坂町地内の雨水排水能力を上げる工事を着手。

排一7①

田代町地区の側溝布設替えを実施し、完了。

排一8

大原川への排水樋管に逆流防止ゲートを設置する設計を実施。平成26年度に施工予定。

抑一3①

駅北地区の浸水を解消するため排水計画を検討した結果、精華小学校より西に位置する音羽緑地内に雨水貯留施設を新設すれば、より抑制効果が認められるため、位置を変更し設計を進めている。

抑一4①

ホワイトタウン内の調整池の浚渫、法面の一部を改良し、完了。

抑一9

当初、「里山砂防、グリーンベルト事業」を念頭に置いていたが、急峻で山に入ることが難しく、砂防事業が計画されたこともあり、別の手法で保全ができないか関係機関と協議を始めることとした。以上のことから予定より遅れている。

⑦ 多治見市水道部

排一2

平成25年度は、都市計画決定及び事業認可を取得し、用地、補償について地権者と事前交渉を開始した。平成26年度は実施設計を予定している。用地、補償については、今年度中に全て契約できるように進めている。

排一4

平成25年度は事業認可を取得し、実施設計を行った。平成26年度は9月末に土木・建築工事を発注できるように設計作業を進めている。

○進捗状況の報告を公表することについて承認された。

5. 実行計画への追加について

①超過降雨対策のための雨水調整池の建設について

現在の浸水対策実行計画は、平成23年豪雨と同規模の豪雨が起きても床上浸水までの被害にはならない（床下許容）水準で、整備を行っている。このため、その床下浸水の被害軽減と、時間100mmのような超過降雨対策として、資料6の朱塗りしてある三角の土地を購入し、雨水調整池を国土交通省庄内川河川事務所と多治見市下水道課共同で検討をし、建設するもの。

②県立多治見病院緊急アクセス道路について

前畑町地内で鉄道と河川に囲まれた地区の水害時の避難経路と県立多治見病院へのアクセス道路を確保するため、大原川と土岐川が合流する地点に橋を架けることとした。国、県、市の役割分担を26年度に決める予定。

（質疑事項）

Q1) 緊急アクセス路は車の通行はできるか。

A1) 歩行者は常時通行可能であり、車は緊急時のみとなる予定。

○上記の2事業を追加することについて承認された。

6. 事務連絡

本協議会は毎年この時期に年1回開催を予定しているが、大きな変更等がある場合は、臨時に協議会を開催することになるので、ご参集願いたい。

7. 閉会